

### 介護ベッドの手すりの隙間に首などを挟む事故

問い合わせ 地域振興課 ☎2131

消費者庁によると、介護ベッドの手すりの隙間に頭や首・手足などを挟まれて死亡や重症に至った事故は、平成19年度から約5年間で58件報告されています。そのうち死亡事故は29件ののほりま

【アドバイス】  
介護ベッドの各製造事業者は、事故を防ぐための部品を配布したり、製品の安全使用に関する注意喚起を行ったりしていますが、部品の入手や交換をしていない使用者もいます。

介護ベッドの手すりは、ベッドからの起き上がりや降りの際につかまって体を支えたり、ベッドから落ちないようにしたりするためのものです。しかし、手すり本体や手すりとの間に生じる隙間、手すりを逆向きに取り付けたために生じた隙間などに頭や首・手足などが挟まれる重大な事故が発生しています。各製造事業者は、事故の危険性のある製品に対し、隙間を埋めたり、逆向き取り付けを防止したりする部品を配布しています。介護ベッドの使用者や介護者は、事故の危険性のある製品かどうか製造業者に確認し、該当する場合は至急対策を講じましょう。

平成21年に介護ベッドの日本工業規格（JIS）が改正され、挟み込み防止のための隙間の基準強化が図られています。購入などの際には新JIS対応製品であることを確認しましょう。（国民生活センター発行「見守り新鮮情報135号」より）

### 障害基礎年金を「存じ」ですか？

問い合わせ 広島西年金事務所 ☎082-2324171・市民課 ☎2142

国民年金には、65歳から支給される「老齢基礎年金」のほか、不慮の事故や万が一のときに備えて、「障害基礎年金」が支給される制度があります。

身体障害者手帳などの「障害者手帳制度」と「障害年金制度」は全く別の制度なので、注意してください。

#### 障害基礎年金とは

障害の原因となった病気やケガの初診日が、国民年金に加入中、あるいは加入をやめた後の60歳以上65歳未満の間にある方が、一定の障害の状態になったときに支給されます。請求先は市民課となります。

また、20歳前の病気やケガで障害の状態になった場合でも、20歳以後に一定の障害の状態であれば受給できます。

なお、厚生年金に加入中に初診日のある病気やケガで障害になったときには、「障害厚生年金」が支給されますが、その場合の請求先は年金事務所となります。

#### 保険料納付要件

障害基礎年金を受給するためには、一定の保険料の納付が必要となります。なお、納めることが困難であれば、保険料を免除する制度を活用しましょう。免除された期間は、保険料の納付要件に該当します。障害年金の請求手続きは、請求者によって異なります。まずは、市役所か年金事務所にご相談ください。

### 発達障害を考える会「ハートとハート」

問い合わせ 藤村携帯 ☎090-7374-8353

「ハートとハート」は、心と心で話す、そしてheart to heart（うちあける）という意味を重ねて活動をしている団体で、次のような方を対象に、会員を募集しています。

- 発達障害児の保護者
- 発達に関心のある方
- 保育・教育・福祉・介護従事者
- 子育てに不安や育てにくさを感じている方

#### Eメールアドレス

mizuniz.914@yahoo.co.jp

主に次のような活動を行っています。

#### ママカフェ

週に一度、日常の悩みや体験談などの色々な話をしており、ピアカウンセリングの役割も担っています。専門書の貸し出しも行います。

とき 毎週水曜日 10時30分

ところ 総合市民会館

#### 母の勉強会

年1〜2回開催予定

講師 賀茂精神医療センター指導員など



## こいこいバス利用者が20万人に到達

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会（市民課内）☎2142

こいこいバスの利用者数が、8月28日に20万人に到達しました。

平成21年10月26日に産声を上げたこいこいバス（当時は「おおたけ幹線バス」と呼んでいました。）は、ダイヤ改正や低床車両の導入など、少しずつ改善を図りながら、着実に利用者を増やしてきました。

最近では、月間利用者数が7千人を超えるようになり、小・中学生や子どもを連れお母さんなど、若い方の利用も見られるようになっていきます。



出発式の様子（平成21年10月26日）

### こいこいバス乗客5万人ごとの推移

利用者数（累計）	到達日	期間日数	平均利用者数
5万人	平成22年9月5日	315日	159人/日
10万人	平成23年5月23日	260日	192人/日
15万人	平成24年1月20日	242日	207人/日
20万人	平成24年8月28日	221日	226人/日

※ 期間日数……5万人利用するのに要した日数  
※ 平均利用者数…期間中の1日当たりの乗客数

運行開始から1、038日目の20万人到達に、利用してくれた皆さんをはじめ、関わっていただいた全ての方々に感謝します。これからもぜひ、こいこいバスを利用してもらい、末永くこのバスを走らせ続けていきたいと思っています。

### 車イスの方の利用にご理解を

こいこいバスは、4月から低床車両を導入しています。この車両は、床面が低いため、高齢の方や小さな子どもも乗り降りしやすく、また、車イスの方も利用できるようになっていきます。

車イスの方が利用するときには、スロープを設置し、乗務員の介助により、車内に固定して走行します。そのため、ダイヤに遅れを生じることがありますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。



車イス乗降時に設置するスロープ

### 栄ぐるりんバスアンケート

栄ぐるりんバスは、利用促進を図るため、周知活動や改善策の検討を行っています。これからの検討の参考とさせていただきます。そのため、地域の皆さんの声を、改めて伺いたいと考えています。

そこで、栄地区在住の方を対象に、アンケートを実施することになりました。調査表は、自治会を通じて配布・回収します。また、栄ぐるりんバスやこいこいバスを利用している方にも、車内で調査をお願いすることがあります。皆様のご協力をお願いします。

### 車両マグネットが分かりやすく



新しいマグネット。前面、後面にもあります。

栄ぐるりんバスの車両に貼り付けているマグネットを改善しました。従来のは見えづらく、何のバスか分からないという声を受け、大きく目立つ色合いに変更しました。桃色の下地に青文字のマグネットを貼り付けているので、利用のときの目印にしてください。